

インプロシニング 講演会のご案内

役者によるパフォーマンス、参加者も体験できる参加型講演会



株式会社インプロジャパン
〒101-0032 東京都千代田区岩本町3-9-1花岡ビル
TEL:03-3865-0481/FAX:050-3730-5637
URL: <http://www.improjapan.co.jp>
Email: info@improjapan.co.jp



1・エンタティメントから生まれたコミュニケーション術！

講師は、世界6カ国30都市でパフォーマンスをしているプロの役者です。楽しくユーモアを交えながら講義は進んでいき、自然に理解することができます。「あの有名な俳優もインプロをしていたのか!」、と楽しい雑学も盛りだくさん。



2・役者により実演つき！

お題をその場でもらい、すべて即興のパフォーマンスを目の前でお楽しみ頂けます。実際に見ることで、より理解度が高まります。



3・その場ですぐに体験できる！

聞だけの講演ではなく、その場で演目に沿ったゲームを体験できます。体験することによって、その場で「分かる」から「できる」に変化することができます。頭ではなく、心と体で理解していきます。

インプロシンキング講演会の3つの特徴

池上奈生美（株式会社インプロジャパン代表取締役）

1994年にインプロと出会い、1998年以降、渡米を重ねながら、インプロのトレーナーとして活動。企業研修、成人教育、児童教育、劇団等の場でほぼ毎日指導を行っている。

パフォーマーとしても精力的に活動し、海外でも数々の賞を受賞している。

インプロのメッカ・シカゴで毎年行われる「シカゴインプロフェスティバル」Artistic Associatesのメンバーであり、日本、アメリカ、カナダ、イギリス、ドイツ、スペイン、ニュージーランドと、7カ国30都市以上のインプロ公演に出演。

2001年には、有限会社インプロ・ジャパン（現・株式会社インプロジャパン）を設立。

コミュニケーションスキル向上の為にインプロを使ったプログラムをいち早く開発し、『インプロ・シンキング』（ダイヤモンド社）

『インプロであなたも「本番に強い人」になれる』（フォレスト出版）の執筆。毎年アメリカ公演や視察等を経て、現在では、NHK教育テレビ「シャキーン！」のインプロコーナーの監修も行い、ワークショップの監修、指導や公演のプロデュース・演出・出演など、インプロに関わるすべての業務を行っている。

- ★ 埼玉医科大学医学部非常勤講師
- ★ 「Chicago Improv Festival」Artistic Associatesメンバー
- ★ 社団法人アプライドインプロヴィゼーションファシリテーター協会理事
- ★ 非営利型一般社団法人 エチケット・サービス向上協会 理事

【主な研修先】

<企業>

NECラーニング株式会社、花王株式会社、花王販売株式会社、株式会社エデュケーショナルネットワーク、株式会社JTB、株式会社JTB関東、株式会社資生堂 ビューティークリエーション研究センター、株式会社静岡第一テレビ、株式会社ソニーミュージックレコーズ、株式会社CHINTAI、株式会社ニューヨーク・ニューヨーク、株式会社日立製作所、株式会社保志、株式会社mediba、株式会社ロフト、キザニア東京、Klab株式会社、サンマリエ株式会社、シスコシステムズ株式会社、ジブラルタ生命保険株式会社、全日本空輸株式会社、テルモ株式会社、東京ガス・カスタマーサービス株式会社、日本生命保険相互会社、日本たばこ産業株式会社、日本通運株式会社、ビーコンコミュニケーションズ株式会社、富士通技術学院、富士通CIT株式会社、プリティッシュ・アメリカン・タバコ・ジャパン、三菱マテリアル株式会社、みんなのマーケット株式会社、他

<行政、教育関連、諸団体>

人事院公務員研修所、参議院、海上保安庁、千葉県教育庁、神奈川県立青少年センター、子ども国連環境会議推進協会、日本の次世代リーダー養成塾、埼玉医科大学、高崎経済大学、東京電機大学、ホンダテクニカルカレッジ関東都立六本木高等学校、ウイガス高等学校、つくば市立大曾根小学校、キヤングループ労働組合協議会、ヤマザキ製パン従業員組合、日本糖尿病教育・看護学会学術集会、聴覚障害公務員会、その他、企業、官公庁、自治体、幼稚園～大学の教育機関、組合、商工会、青年会議所等、多数。



講師のご紹介

【想像力を高め、相手を思いやるコミュニケーション力の向上】

【受け入れ生かしあうYESANDのコミュニケーション】

【台本のない社会を創造していく力】

【ピンチからチャンスを生み出す力】

【インプロで変化に強い組織を作る】

【発想力を飛躍的に高めるには】

【リスクを味方につける】

【前向きな姿勢で明るい未来を呼び込もう！】

* 時間 30分～2時間程度。公演（インプロ・ショー）やワークショップとの組み合わせも可能です。
詳しくは、お気軽にお問合せ下さい。



主な講演演目（いくつかの演目を合わせたり、ご依頼に沿った内容に変更できます）

情報社会の現代、目まぐるしくいろんなことが変化していきます。
そのたびに、状況を理解するのではなく、そこにどんな次への可能性があるかを
想像することが大切です。

また、時代の変化の速さに伴い、世代の違いも大きくなっています。
世代の違う部下や上司と円滑なコミュニケーションをとる為にも、
想像力を使わなければいけません。

ドイツの哲学者ニコラス・ルーマンの言葉に「情報の伝達と理解が組み合わさって、
はじめてコミュニケーションという現象が成立する」とあります。

そこには相手の心を感じ取る想像力が必要です。
想像力がないコミュニケーションでは、伝達者の「情報」と受信者の「情報」は、

<内 容>

- なぜコミュニケーションに想像力が必要か。
- 自分だけの想像と共有する想像の違い。
- 役者によるデモンストレーション。

(コミュニケーションの違いを即興で実演)

<参加者のみなさんのインプロゲームの実施>

- * 一方通行の会話の体験
- * 想像力を使った会話の体験 他



講演演目案内【想像力を高め、相手を思いやるコミュニケーション力の向上】



過去の参加者の感想

- ・最初難しそうだったが、すぐに楽しく相手とうちとけた。
- ・普段、無意識に相手に「NO」を出していることに気づいた。
- ・これからは、違うアイデアでもまず受け入れようと思う。
- ・受け入れられることの楽しさが分かった。
- ・これからは自信を持って発言しようと思う。

内容

<NO/YES>

二人組になって、相手の提案をまず否定し続ける、その後肯定だけを言います。

まず、NOだけ、YESだけでは、どちらも発展していかないし、共有できないことを体感してもらいます。

その上で、まず受け入れそこからプラスしていく「イエスアンド（はい、そして）」を行います。

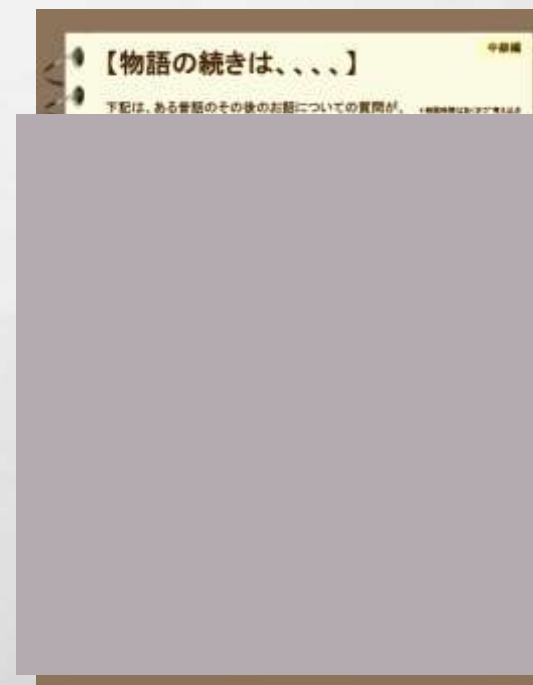
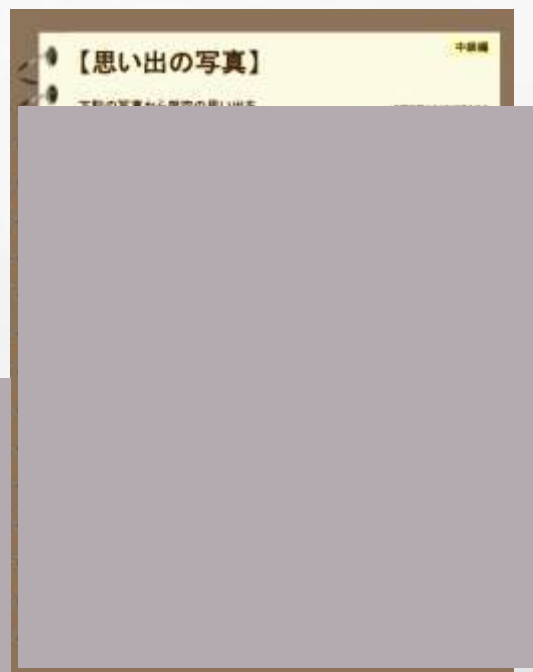
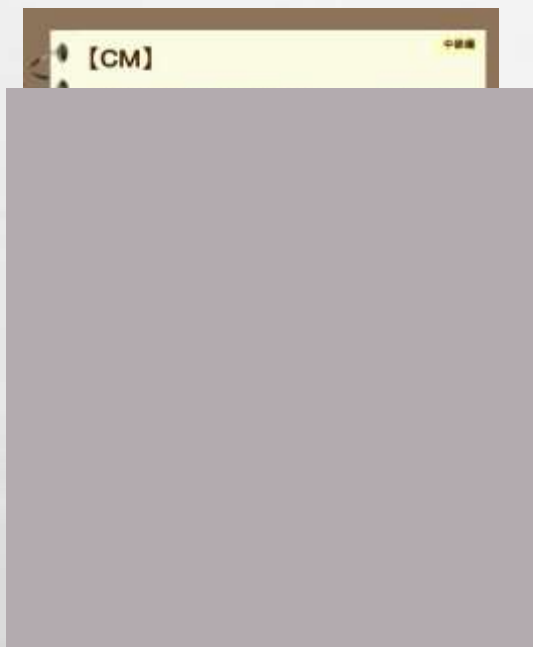
<YESAND>

必ず相手のアイデアを「はい」と受け入れ、「そして」と自分の意見も加えていきます。

自然と、お互いに良い刺激を請け合い、イメージが共有し、進展していきます。

主なゲームのご紹介 「NO/YES→YESAND」

発想力、想像力を生かし、物語や絵を協力して描いていくシートをご体験いただくことも可能です。
シートは50種類以上ある中から、目的にそった内容をご提案いたします。



トレーニングシートのご案内 (別料金)

テルモ株式会社主催「第13回日本糖尿教育・看護学会年次学術集会」

演目「本番に強いコミュニケーションスキルの磨き方 療養指導に役立つ臨機応変力！養成講座」

全国から集まった医療関係者を対象に、療養指導におけるコミュニケーションのありかたについてお話をしました。

1時間という短い時間でしたが、実際に否定する肯定するということをゲームを通して体験していただき、アンケートでは**95%以上が「満足」**とお答えいただきました。

*参加者の声

- ・「常に変化している」「相手の反応を瞬時にとらえ反応を返す」などコミュニケーションの循環が印象に残ってYESだけでもNOだけでもコミュニケーションが行き詰ることを改めて実感できた。
- ・実際に体験したことによって日常の中で気付かずに行っていた行動に気付いた。

テルモ株式会社主催「第3回茨城県糖尿病看護研究会」

茨城県の糖尿病医療に関わる関係者を対象に2時間の体験型講演会を行いました。

*参加者の声

- ・実演があって分かりやすかった。2時間があっという間だった。
- ・人は人と会話しながら成長していくのだと思い、人と会話する事は大切だと思った。
- ・実際に実技を行い、体験することで楽しく理解することができました。また続きを聞いてみたいと思いました。

株式会社インテリジェンス「キックオフミーティング」

役員、マネージャー層を対象に、チームのリーダーとしての心構えや、チームメンバーとの関わり方を、講話とともに、実際にゲームを通してご体験いただきました。

さいたま商工会議所「例会」

20代の方から50代の方まで、男性も女性も混じっての大きな例会でした。

お互い同じ商工会議所にいながらなかなか顔を合わせることもなく、コミュニケーションが取りづらい環境であったようですが、1時間半の講演とゲーム体験を通して深く知り合い、積極的に声を掛け合うきっかけとなりました。

*参加者の声

- ・なかなか会うことのない仲間だが、一気に仲良くなることができました。

名古屋PTA「中川親子研修会」

小学生のご父兄を対象に、子どもたちの受け入れていくこと、自主性を促していくことについてお話をしました。

会場のあちこちで、もっとほめて上げなきゃ、受け入れていることを態度で示さなければというお声が聞こえました。

*参加者の声

- 「普段子どもをしかりすぎているかもしれない。まず受け入れることから始めていきます。」

過去の主な講演の様子